

2018年度 第1四半期決算について

2018年8月7日

本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされもしくは算定されています。

また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を用いてなされもしくは算定したものです。将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。

※ 本資料中の「E」は記載の数値が計画または業績予想であることを表しています。

➤ 連結決算概況

- 2018年度第1四半期 連結決算の状況
- 2018年度第1四半期 セグメント別の状況

➤ 新たな中期経営戦略策定に向けて

- 新たな中期経営戦略の骨子
- グローバル事業の競争力強化
- その他の取り組み
 - B2B2Xモデル推進
 - 国内事業のデジタルトランスフォーメーション推進

➤ Appendix



連結決算概況

2018年度第1四半期 連結決算の状況

- 増収・増益
- 年間計画に向けて順調なスタート

連結決算状況

● 営業収益	:	2兆8,527億円（対前年 + 440億円〔+1.6%〕）
● 営業利益	:	5,372億円（対前年 + 126億円〔+2.4%〕）
● 四半期（当期）利益※1	:	2,897億円（対前年 + 5億円〔+0.2%〕）
● 海外売上高	:	49.7億ドル（対前年 + 3.3億ドル〔+7.2%〕）
・クロスセル受注額	:	2.1億ドル
● 海外営業利益※2	:	2.7億ドル（対前年 + 0.3億ドル〔+11.4%〕）

※1 四半期（当期）利益は、当社に帰属する四半期（当期）利益（非支配持分帰属分控除後）を記載しております。

※2 買収に伴う無形固定資産の償却費等、一時的なコストを除いた営業利益を記載しております。

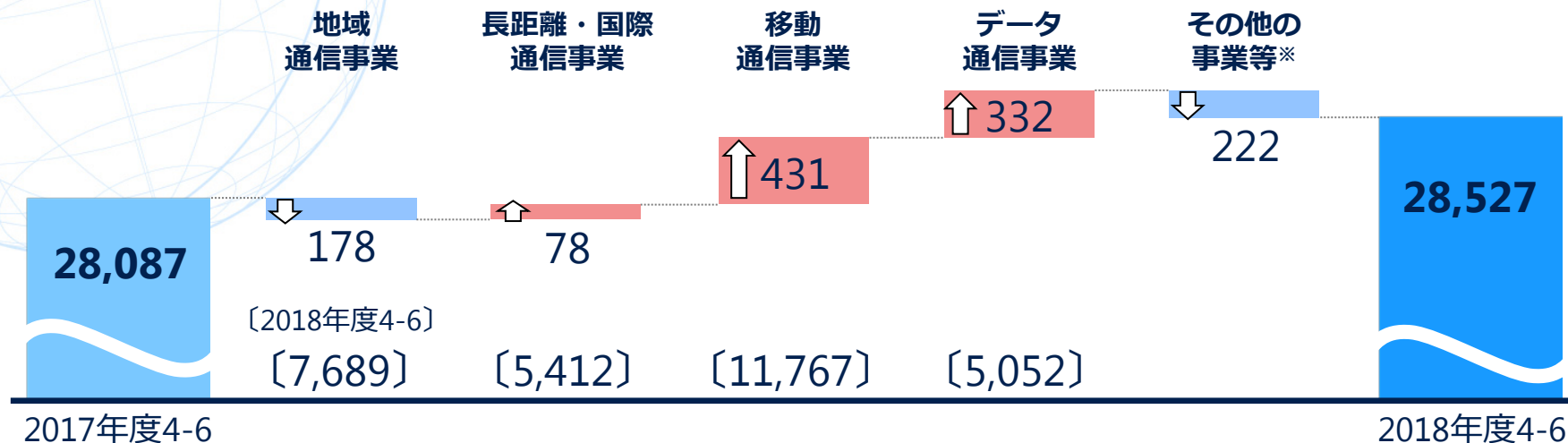
2018年度第1四半期

セグメント別の状況 **NTT**

営業収益

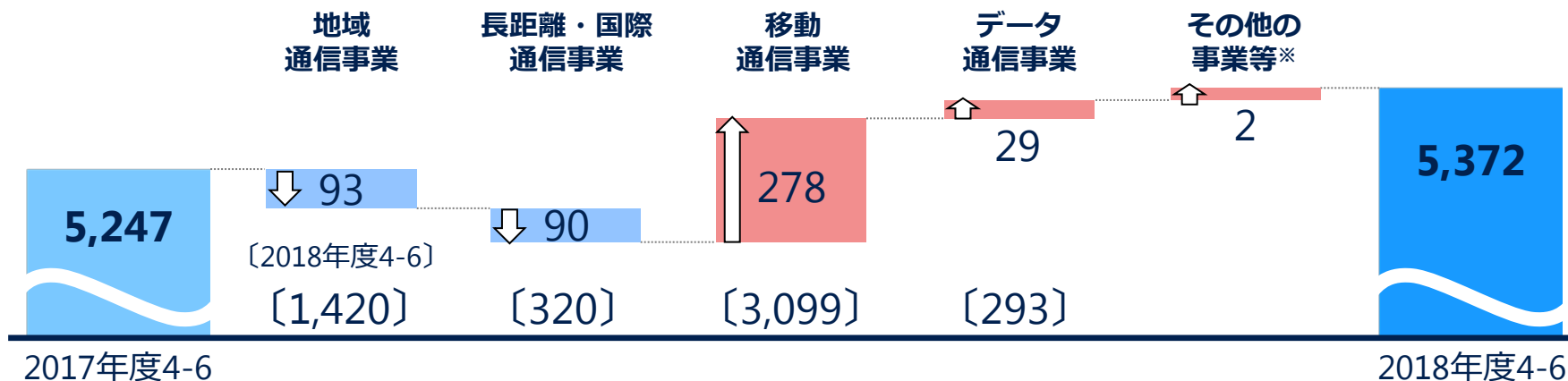
(対前年 : +440)

(単位 : 億円)



営業利益

(対前年 : +126)



※セグメント間取引消去・その他を含む



新たな中期経営戦略策定に向けて

新たな中期経営戦略の骨子

お客さまのデジタル
トランスフォーメーション
をサポート

- B2B2Xモデル推進、新たな価値創造をサポート
- 5Gサービスの実現・展開
- パーソナル化推進、ライフスタイルの変革をサポート

自らのデジタル
トランスフォーメーション
を推進

- グローバル事業の競争力強化
- 国内事業のデジタルトランスフォーメーションを推進

人・技術・資産
の活用

- 研究開発の強化・グローバル化
- 不動産利活用、エネルギー事業

ESG経営の推進、株主還元の充実による企業価値の向上

グローバル事業の競争力強化

① グローバル持株会社の創設

- グローバル市場における競争力の強化と収益性の向上に向け、
 - ・ 今秋までに、持株会社傘下にグローバル持株会社を創設し、NTTコミュニケーションズ、Dimension Data、NTTデータ、NTTセキュリティ、NTT Innovation Instituteを移管
 - ・ 来年夏を目途に、NTTデータグループを除く4社グループの事業を海外と国内別に統合することを検討

現状

日本電信電話株式会社（NTT）

NTTコミュニケーションズ

Dimension Data

NTTデータ

NTTセキュリティ

NTT Innovation Institute

2018年秋以降

日本電信電話株式会社（NTT）

グローバル持株会社

（新）

NTTコミュニケーションズ

Dimension Data

NTTデータ※

NTTセキュリティ

NTT Innovation Institute

グローバルイノベーションファンド

（新）

- ・ 会社名：
NTT株式会社
（英名：NTT, Inc.）
- ・ 所在地：
日本（東京都）
- ・ 代表者：
澤田 純
（当社代表取締役社長）

※NTTデータは現在の経営形態のままグループ各社と連携、上場を維持

② グローバルイノベーションファンドの創設

- グローバル市場で成長が見込めるテクノロジー領域を中心とした投資を活発化
- 海外の先進的な学術研究機関やベンチャーキャピタルコミュニティ等の人的ネットワークを活用し、グローバル市場でのR&D強化をさらに推進
 - ・ ファンド名 : NTT Venture Capital, L.P.
 - ・ 所在地 : 米国
 - ・ 規模 : 最大5億ドル（予定）

B2B2Xモデル推進

- 横浜市、横浜市立大学との「官民データ活用による超スマート社会の実現に関する包括連携協定」を締結（2018年7月31日）

国内事業のデジタルトランスフォーメーション推進

- NTTグループにChief Digital Officer（最高デジタル責任者）を設置（2018年8月1日）
 - ・ 業務プロセスの更なる効率化や新たな付加価値サービス提供等を推進
- 当社内にIT推進室を設置（2018年9月1日予定）
 - ・ デジタルトランスフォーメーションの取り組み加速に向け、グループ全体のIT戦略立案・推進、ITガバナンス機能等を充実



Appendix

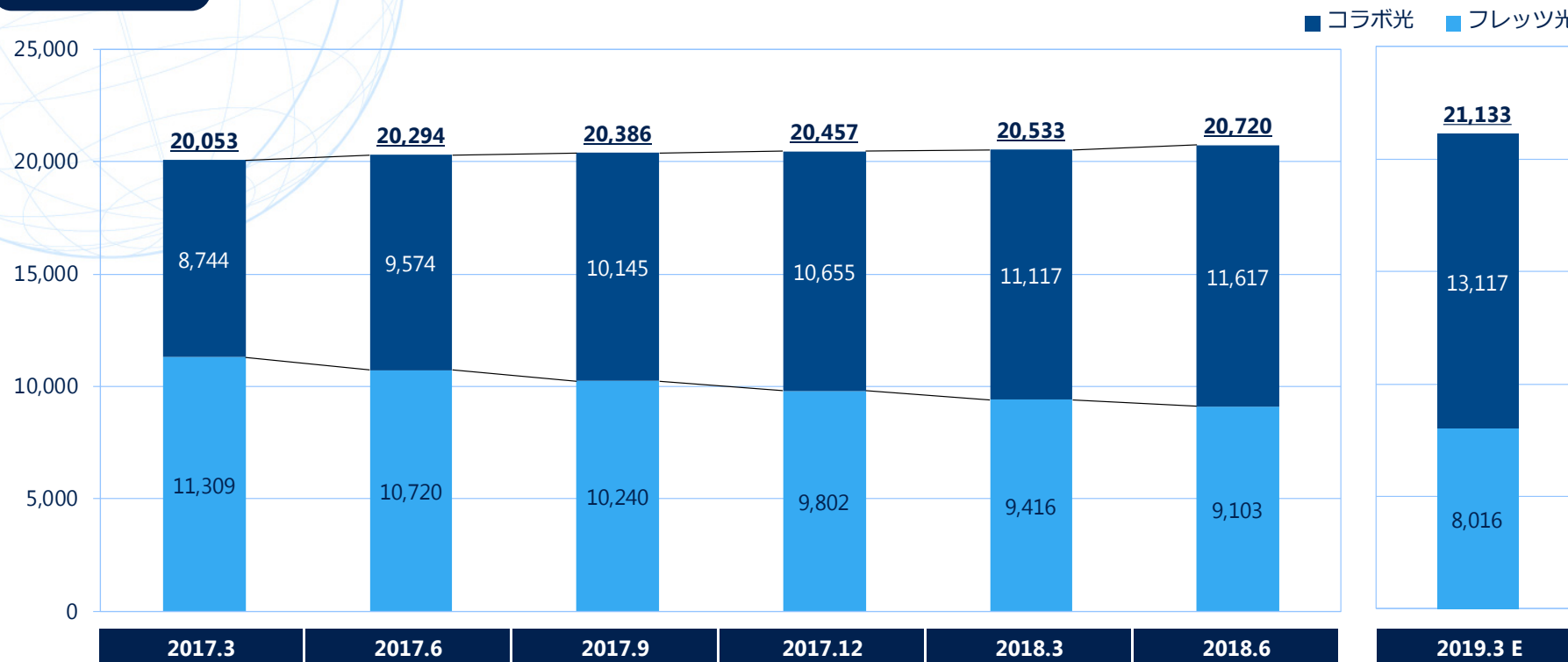


ブロードバンド・サービス

固定ブロードバンドの契約数

契約数

(単位: 千契約)



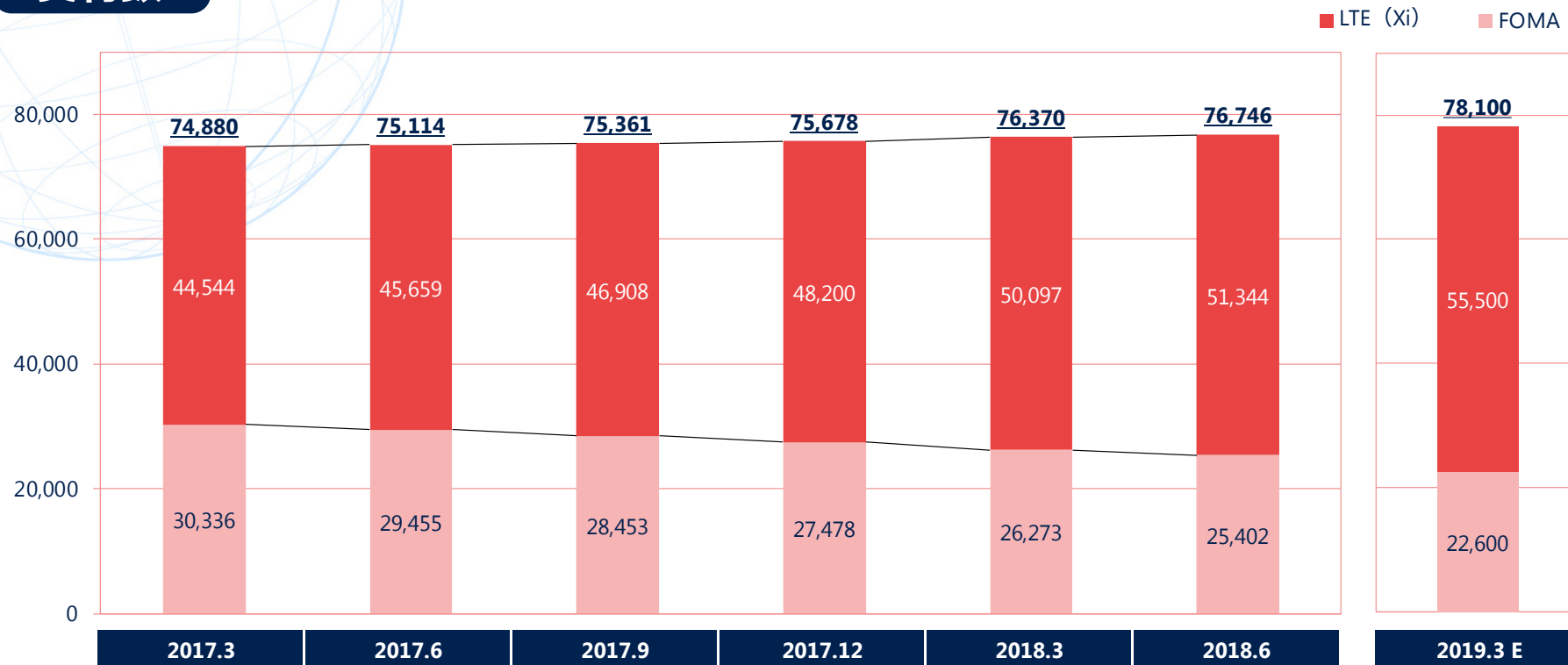
純増数

	2017 4-6	2017 7-9	2017 10-12	2018 1-3	2018 4-6	2018 4 - 2019 3 E
合計	+241	+92	+72	+75	+187	+600
コラボ光	+480					
	+830	+571	+510	+462	+500	+2,000
	+2,373					
フレッツ光	▲589	▲480	▲438	▲387	▲313	▲1,400
	▲1,894					

移動ブロードバンドの契約数

契約数

(単位: 千契約)



純増数

	2017 4-6	2017 7-9	2017 10-12	2018 1-3	2018 4-6	2018 4 - 2019 3 E
LTE (Xi) + FOMA	+234	+247	+317	+692	+376	+1,700
	+1,491					



財務状況

連結損益計算書の状況

営業収益

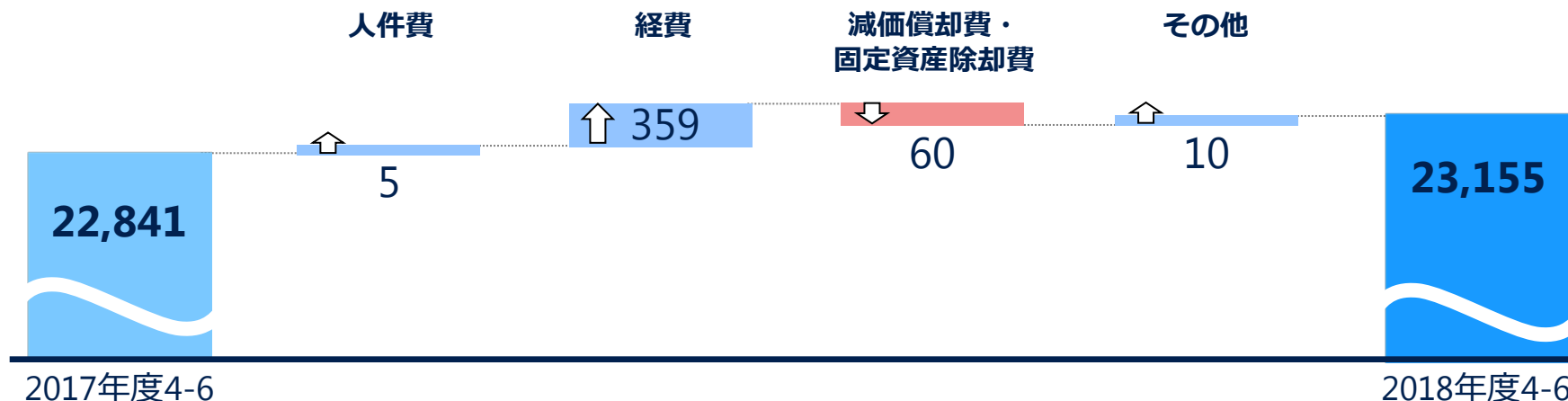
(対前年 : +440)

(単位 : 億円)



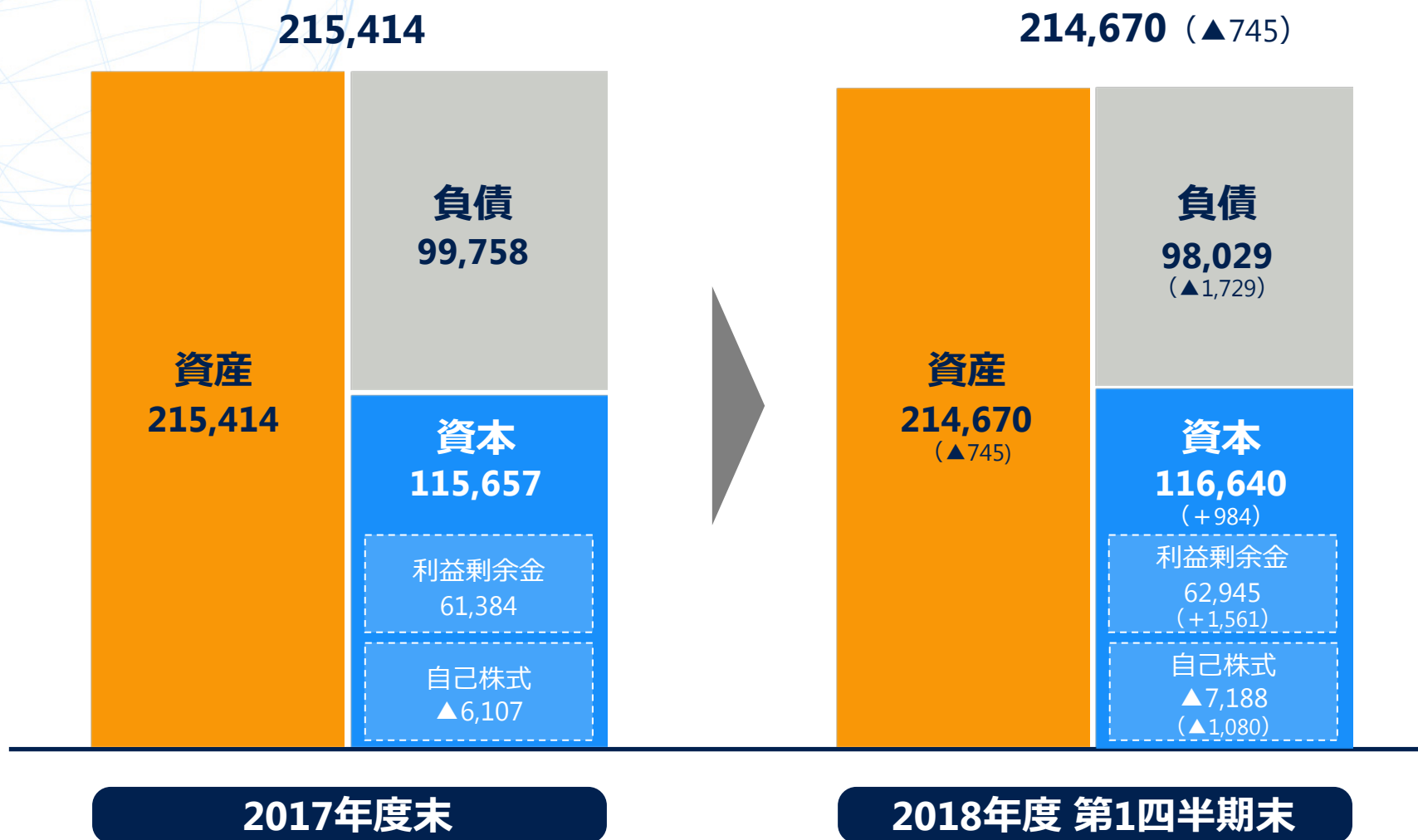
営業費用

(対前年 : +314)



連結貸借対照表の状況

(単位：億円)



連結キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)

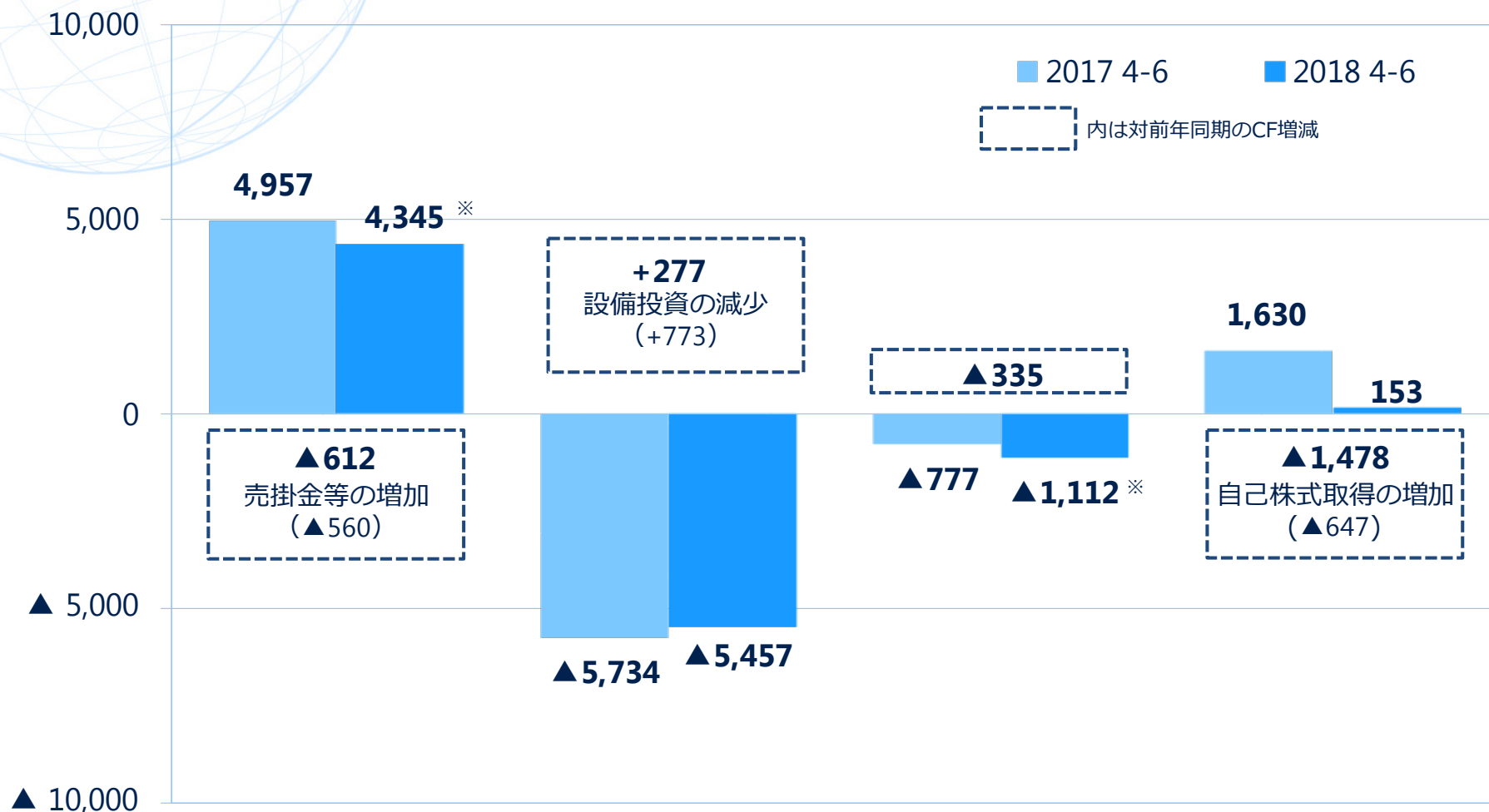
営業CF

投資CF

FCF

(営業CF + 投資CF)

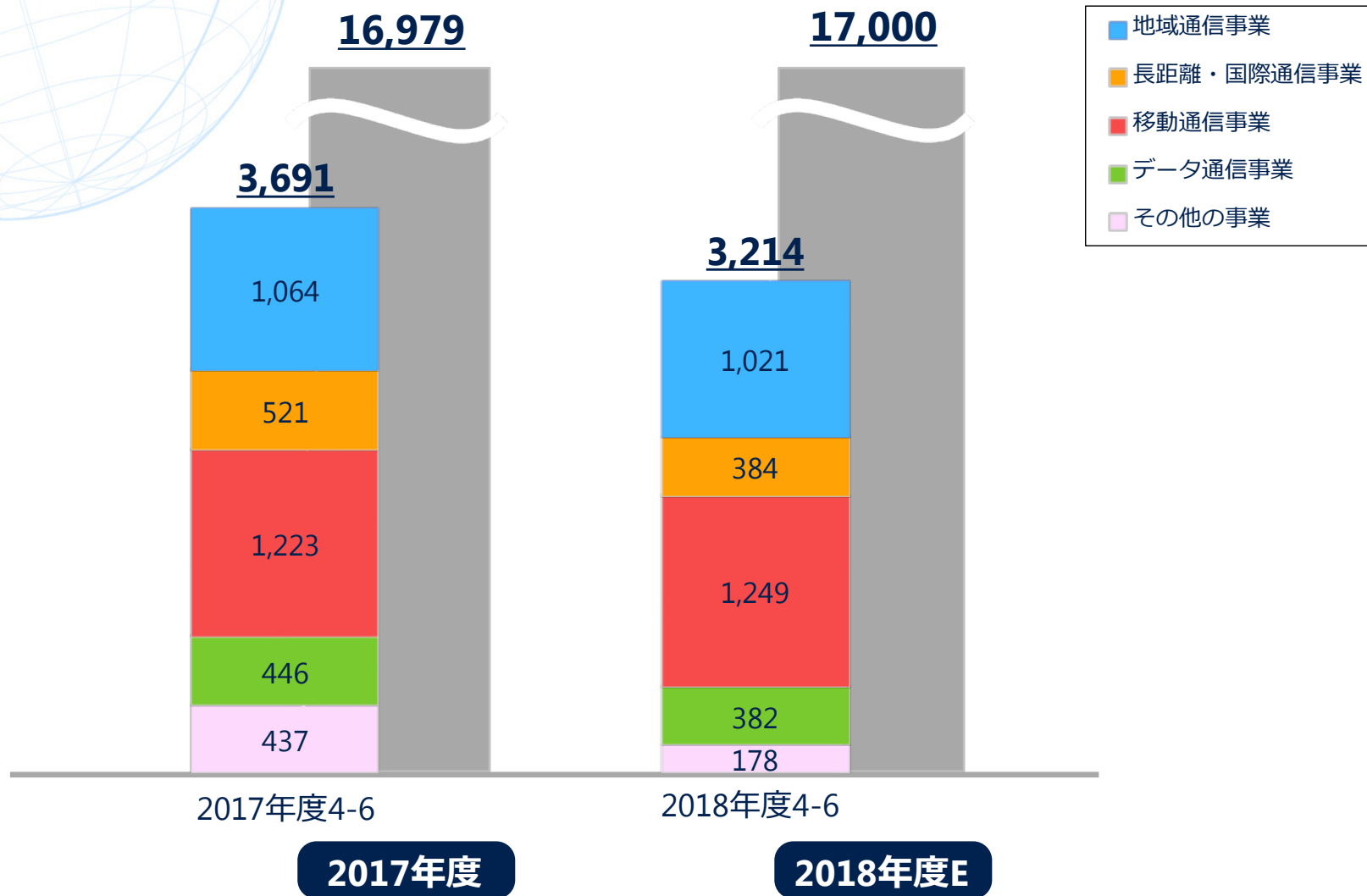
財務CF



※前期末日及び当第1四半期末日が休日だった影響を除いた額。

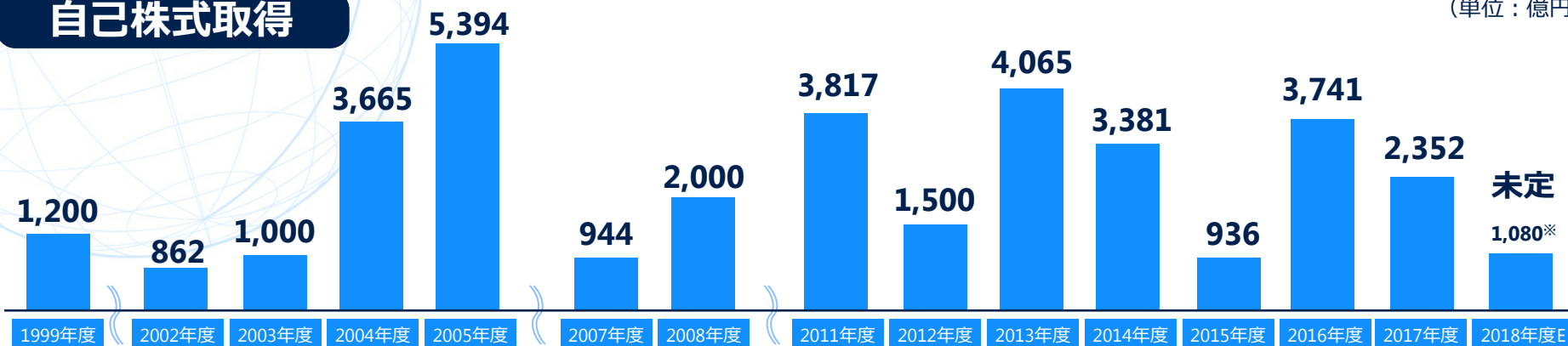
設備投資額の状況

(単位：億円)



自己株式取得

(単位：億円)



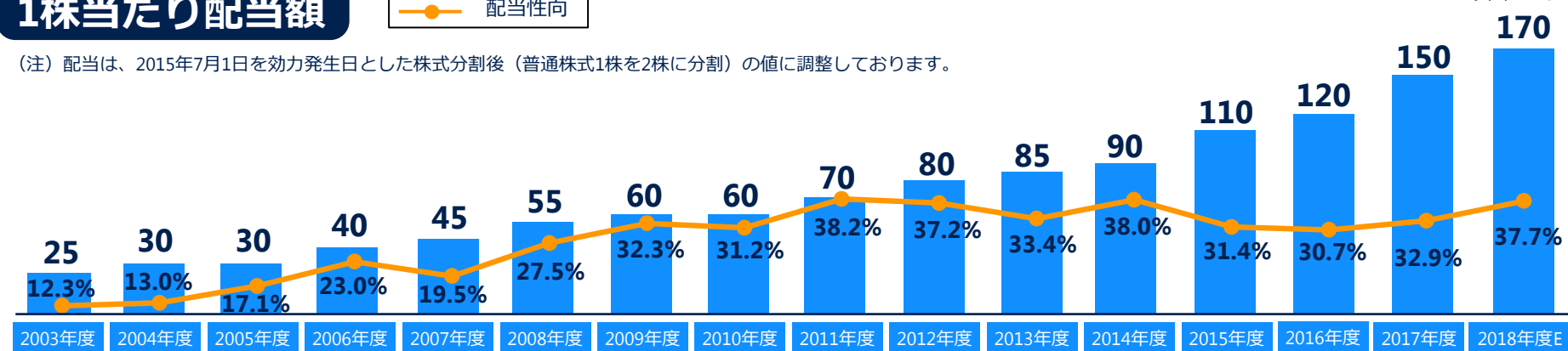
※2018年6月末時点

1株当たり配当額

—●— 配当性向

(単位：円)

(注) 配当は、2015年7月1日を効力発生日とした株式分割後（普通株式1株を2株に分割）の値に調整しております。





Your Value Partner